

ソウル特別市政府(SMG)

新興感染症への対応





SEOUL M! SOUL

目次

01

新興感染症の世界的脅威

02

新興感染症対応システム

03

次のパンデミックへの備え

新興感染症の世界的脅威

21世紀

2003



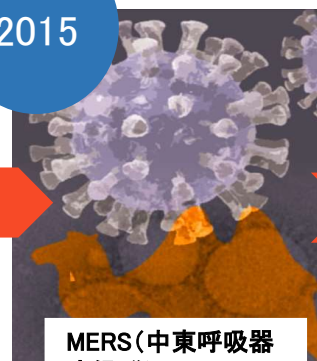
SARS(重症急性
呼吸器症候群)

2009



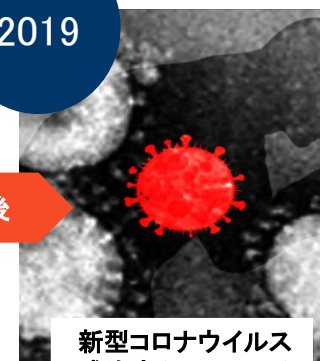
H1N1
インフルエンザ
パンデミック

2015



MERS(中東呼吸器
症候群)

2019



新型コロナウイルス
感染症 (COVID-19)

6年後

6年後

4年後

流行期間
(韓国)

3か月(2003.3.~5.)

12か月(2009.5.~2010.4.)

8か月(2015.5.~12.)

52か月(2020.1.~2024.5.)

世界の感染者数
世界の死亡者数

8,098人
774人

300,000人
3,917人

2,578人
888人

6億6,000万人
700万人

韓国の感染者数
韓国の死亡者数

3人
0人

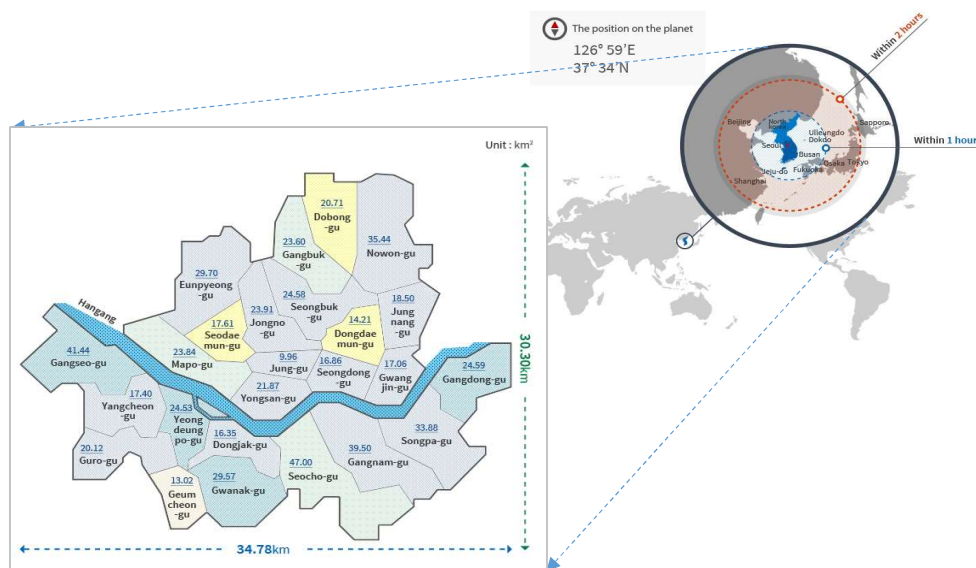
15,160人
260人

186人
38人

3,000万人
33,000人

新興感染症の世界的脅威

グローバル都市としてのソウル



- OECD加盟国の主要都市の中で最も人口密度が高い
- ヨーロッパとアジアを結ぶ経済・政治の国際拠点
- 他都市との複雑かつ多部門にわたる相互関係を持つ

人口 : 9,638,799人



新興感染症の急速な拡大がソウルで発生する可能性は十分に考えられる。

ソウル市の感染症対応システムは準備万端！

新興感染症対応システム



1. 法的小よび行政的小根拠

・ソウル特別市感染症予防管理条例

： 韓国の法律に基づき、ソウルの特性を考慮した感染症の個別対応と管理をサポートする
→ 本条例は法的根拠として機能し、執行可能性を確保する

ソウル特別市感染症予防管理条例

서울특별시 감염병의 예방 및 관리에 관한 조례

[시행 2023. 10. 4.] [서울특별시조례 제8887호, 2023. 10. 4., 타법개정]

서울특별시(감염병관리과), 02-2133-7691

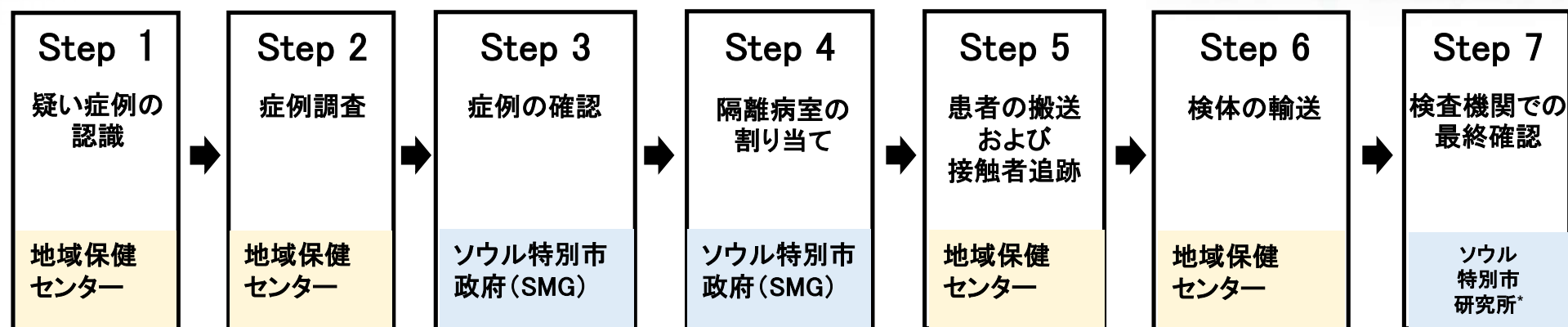
□ **제1조(목적)** 이 조례는 「감염병의 예방 및 관리에 관한 법률」 및 같은 법 시행령에 따라 시민의 건강에 위해(危害)가 되는 감염병의 발생과 유행을 방지하고, 그 예방 및 관리를 위하여 필요한 사항을 규정함으로써 시민의 건강 증진 및 유지에 이바지함을 목적으로 한다.

□ **제2조(정의)** 이 조례에서 사용하는 용어의 뜻은 다음과 같다.

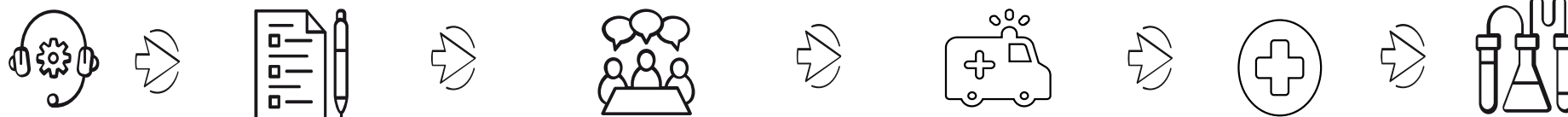
1. "감염병"이란 「감염병의 예방 및 관리에 관한 법률」(이하 "법"이라 한다) **제2조제1호**에 따른 감염병을 말한다.
2. "감염병환자"란 **법 제2조제13호**에 따른 사람을 말한다.

新興感染症対応システム

2. 24時間365日対応サービス



*ソウル特別市 公衆衛生・環境研究所



疑わしい症例の迅速な特定

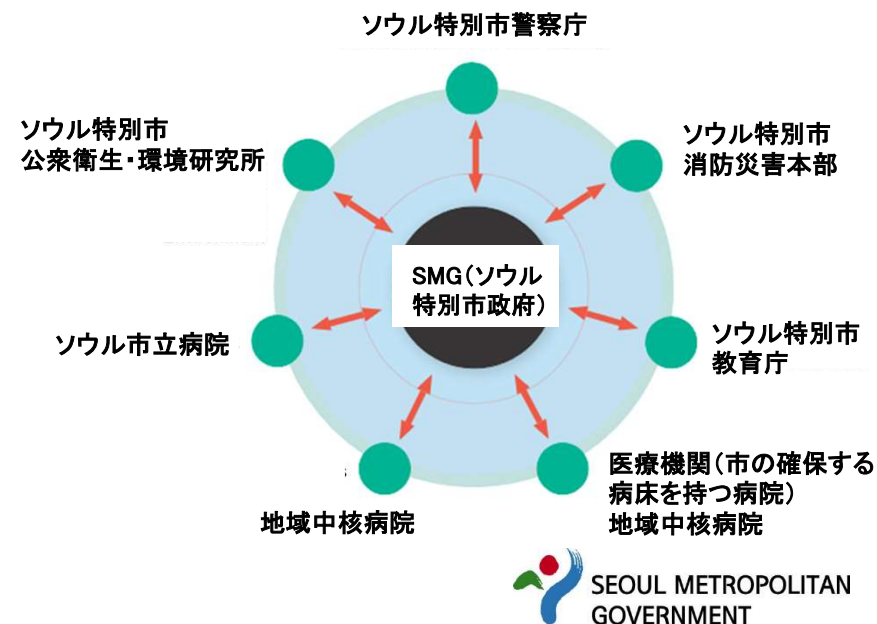
- ➡ソウル特別市の疫学者が症例調査の結果を検証
- ➡感染が疑われる患者を隔離病室へ収容
- ➡感染が確認された患者に対する早期検体採取と治療開始

新興感染症対応システム

3. 複数の組織間の協力体制

- 定期的なワーキンググループ会議: 感染症対策
 - ✓ 感染拡大時の対応管理のための組織間ネットワークの構築
 - ✓ 通信規約の策定および関与計画の準備

「2024年下半年 感染症関連機関 協議体運営会議」



新興感染症対応システム

4. 病床および医療物資の管理

- 感染症専門治療病床の確保

政府確保病床

• 5病院
: 95床

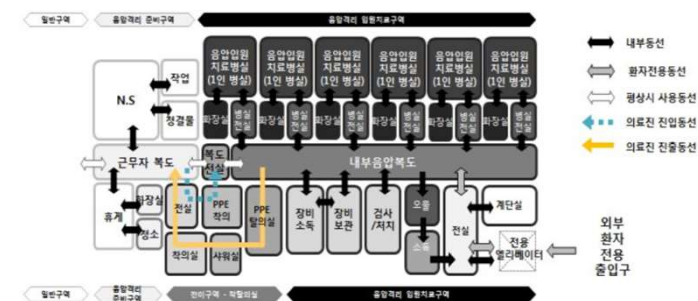
地域中核病院

• 5病院
: 20床

緊急対応病床

• 3病院
: 103床

- IPC(感染予防・管理)物資の管理
: 備蓄、分配、品質管理 など



[隔離病床のフロアプラン]

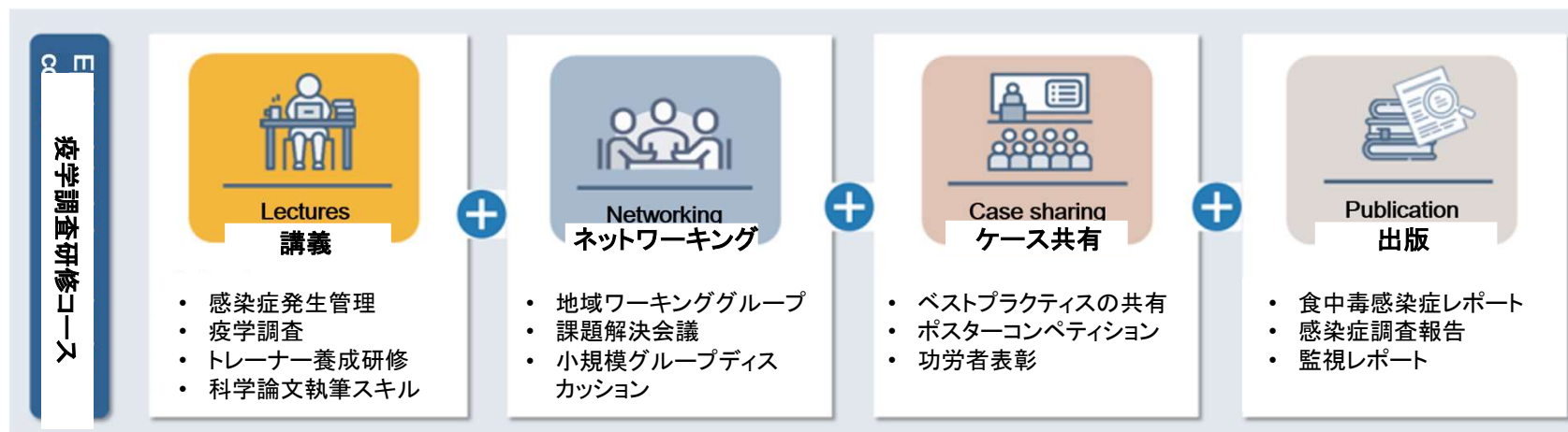
新興感染症対応システム



5. 能力開発(キャパシティビルディング)

•医療専門職向けの研修(疫学者、公衆衛生官、医療従事者)

- ✓ 予期せぬ感染症流行に備えた適切な人員配置の維持
- ✓ 市政府および区職員向けの迅速な研修・教育システム
- ✓ 疫学調査を含む実践的で個別の目的に合わせたカリキュラム



新興感染症対応システム

5. 能力開発(キャパシティビルディング)

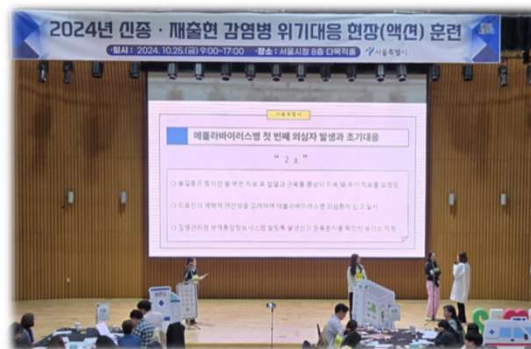
・ 感染症発生管理トレーニング

✓ MERSやエボラなどの新興感染症への対応

✓ 詳細なシナリオを用いたシミュレーション演習

の実施

✓ 適切な個人防護具(PPE)の使用訓練



新興感染症対応システム

6. COVID-19 検査センターの導入

● 大規模検査のための革新的なスクリーニングセンター

ドライブスルー検査ステーション

安全かつ迅速な検査を実施



ウォークスルー検査ステーション

海外からの入国者向けに導入



WSJ (2020.4.2.)

「ヨーロッパ諸国の政府および科学者が韓国のアプローチを支持」

이미지 출처: 미국 월스트리트저널 보도 화면

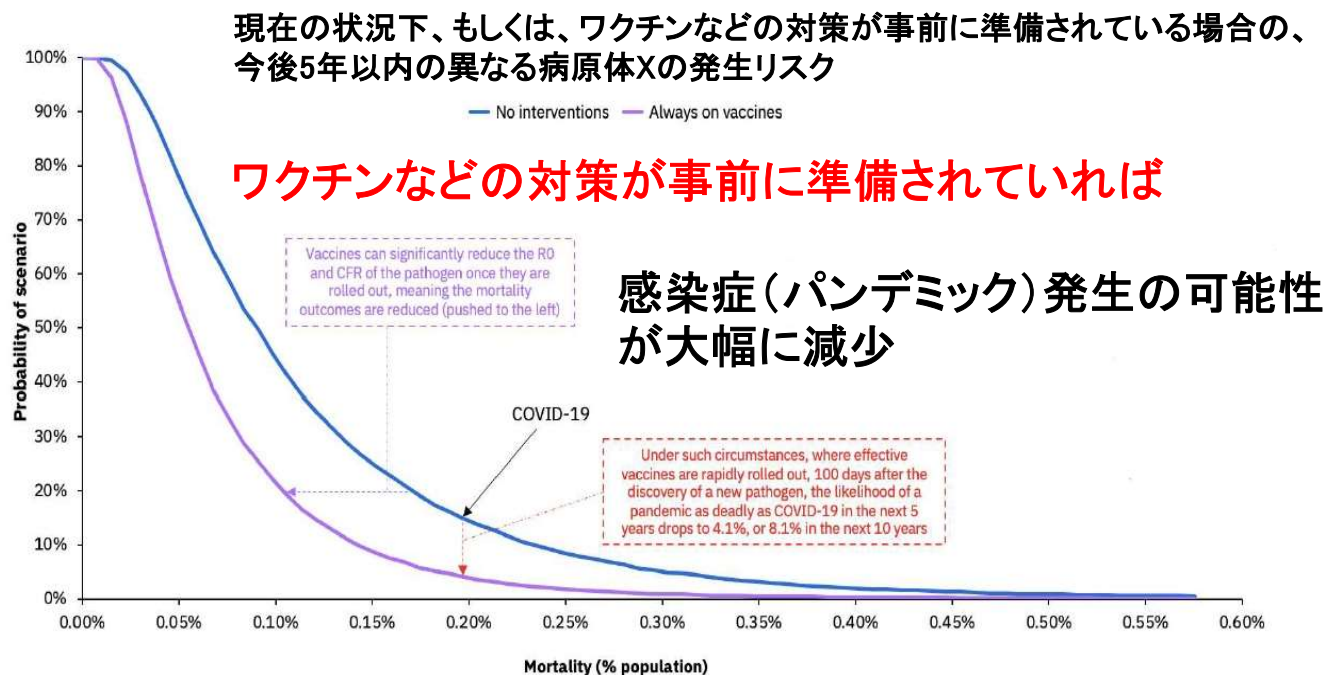


- 優れた事例として評価されたCOVID-19 のモバイル検査センターは、ソウル市(SMG)で最初に導入され、他の地方自治体にも広く採用された
- 多様なタイプの検査センターは、CNNなどのメディアでも最優良事例として紹介され、他国でも参考にされている

次のパンデミックへの備え

COVID-19レベルの致死率を持つ感染症（パンデミック）が発生する可能性

5年以内の発生確率 **14.9%** 10年以内の発生確率 **27.5%**



リスクの低下

5年以内 **4.1%**

10年以内 **8.1%**

<https://www.airfinity.com/articles/a-strong-pandemic-defence-system-could-reduce-the-chance-of-another-covid>

次のパンデミックへの備え

「ソウル型」プロセスベースマニュアルの開発

1 教訓の活用

COVID-19での主要事例
から得た経験の反映

2 タスクベース の対応

タスクに基づく対策と
ベストプラクティスのガイド

3 シナリオベース の対策

代表的なシナリオに
基づく詳細な手順

※感染症対応プロセスの9つの分野における改訂

- ① ガバナンスとシステム ② ケース管理および接触者追跡
- ③ 検査(例:スクリーニングセンター、自己検査) ④ 疫学調査(感染拡大管理を含む)
- ⑤ 治療(例:病床管理、自宅療養、地域療養センター) ⑥ 死亡例の管理
- ⑦ ワクチン接種 ⑧ 感染予防・管理(IPC)物資の管理
- ⑨ 予防対策(例:ソーシャルディスタンス、啓発キャンペーン)



2020-2023 ソウル市
COVID-19対応マニュアル

次のパンデミックへの備え

「ソウル型」プロセスベースマニュアルの開発

- ・ 感染症対応マニュアルの更新は現在進行中であり、COVID-19の教訓を反映
- ・ 目的に合わせて作られたトレーニングカリキュラムを通じた能力開発を推進

→ソウルは次のパンデミックへより良く備えられるでしょう



SEOUL MY SOUL

ありがとうございました

